



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	大学文書館業務記録 : 大学文書館業務日誌 : 大学文書館利用状況 : 大学文書館構成 : 大学文書館年報編集
Citation	北海道大学大学文書館年報, 21, 123-134
Issue Date	2026-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/99414
Rights	(c) 2026 Hokkaido University Archives
Type	other
File Information	07_records.pdf



< 記 録 >

大学文書館業務記録（2025年1月～12月）

1. 北海道大学 150 年史編集室の業務

(1) 『北海道大学百五十年史』資料編二の刊行

資料編二（編集：北海道大学150年史編集室、発行：北海道大学）を12月26日に刊行した。

(2) ブックレット『北大と北大生の150年』の編集

2026年3月末の刊行へむけて、各章の概説とコラム、巻末資料等の執筆・編集・校正を行なった。

(3) 『写真集 北大150年』の編集

2026年8月末の刊行へむけて、札幌農学校期～北海道帝国大学期の記事を編集した。北海道大学期以降の記事については、掲載写真の選定作業を進めた。

(4) 編集室会議等の開催

「北海道大学150年史編集室会議」1回（12月11日～16日、持ち回り会議）を開催し、ブックレットの出版権設定契約について検討を行った。

編集室作業班打ち合わせを1回（2月20日）、ブックレット編集班打ち合わせを19回（1月28日、4月9日、5月2日、5月7日、5月20日、6月6日、6月16日、6月24日、6月30日、7月1日、7月9日、7月17日、7月22日、9月18日、10月10日、10月30日、11月11日、11月17日、12月23日）、写真集編集班打ち合わせを12回（4月4日、4月16日、4月21日、5月2日、5月9日、6月24日、9月22日、10月20日、10月31日、11月17日、12月9日、12月25日）開催し、編纂物（資料編二・三、ブックレット、写真集）の編纂方針や進捗状況を確認し、構成・執筆・デザインの検討を行った。

(5) 資料編採録資料の選定にむけた文書の整理

資料編二（1945-2003年）、資料編三（2004-2026年）に採録する資料を選定するため、1月9日に総務企画部総務課及び企画課より、1990年代以降の現用文書（役員運営組織会議の議事録、設置・改廃関係文書等）50箱を借用し、複写および採録作業を進めた。

資料編四（部局史）に掲載する在籍教員一覧の基礎データを作成するため、『官報』および『北大時報』の辞令・叙任記事の入力作業を進めた。

(6) 写真集編集にむけた写真資料の整理

大学文書館所蔵の新制大学期の写真資料について、デジタル画像化を進めた。

(7) 広報活動

創基150周年記念事業準備事務室のメールマガジン「準備事務室通信」の各号（第5号・1月30日、第6号・3月31日、第7号・5月29日、第8号・8月8日、第9号・10月9日、第10号・12月10日）に、資料受贈、展示公開等の活動報告を掲載した。

2. 大学文書館公文書室の業務

(1) 集中管理を実施する法人文書の引継ぎ

引継ぎ数：398件

引継ぎ日：10月17日、10月21日、10月22日

引継ぎ元：45管理部局：経営企画本部企画課、総務企画部（総務課、大学文書館事務、人事課、人事課厚生労務室）、財務部主計課、学務部（学務企画課、大学院教育改革推進室、教育推進課、学生支援課、保健センター事務、入試課）、研究推進部研究振興企画課、施設部（施設企画課、施設整備課、サステイナビリティ推進機構）、国際部（国際企画課、国際連携課）、社会共創部（産学連携課、広報課）、学術情報部（図書館企画課、情報企画課）、教育学事務部、法学研究科・法学部事務部、経済学事務部、理学・生命科学事務部、医学系事務部（総務課、アイソトープ総合センター事務）、〔保健科学院・保健科学研究所・医学部（保健学科）〕・医学系事務部保健科学研究所事務課、歯学事務部、薬学事務部、工学系事務部（総務課、教務課）、農学・食資源学事務部、獣医学系事務部、獣医学系事務部（人獣分）、函館キャンパス事務部、大学病院（総務課人事労務管理室、経営企画課、医療支援課）、環境科学事務部、メディア・観光学事務部、低温科学研究所事務部、北方生物圏フィールド科学センター事務部

(2) 「特定歴史公文書等」

「大学文書館所蔵資料検索」システム登載数（12月31日現在）	15,898件
：【外部リンク】資料画像（簿冊内の件名目録のページを撮影・編集した画像）の登載数	180件

3. 大学文書館沿革資料室の業務

(1) 沿革資料数

「大学文書館所蔵資料検索」システム登録数（12月31日現在） 26,104件
：【掲載内訳】 沿革資料14,801件、沿革刊行物11,303件
：【サムネイル】 資料画像（絵葉書資料の絵柄面・写真資料の被写面を
スキャン・編集した画像）の登録数 1,878件

(2) 沿革資料の受け入れ

2025年1月～12月において学内外より受け入れた主な資料は、次のとおりである。

《学内沿革資料の受け入れ》

- (1) 伊藤一隆の卒業証書レプリカ（額装）／受入日：社会共創部広報課より1月29日
- (2) 沿革刊行物15点（『北大寮歌』、北大職員文学サークル『楡の仲間』等）／受入日：附属図書館研究支援課より2月5日
- (3) 旧農学教室および農学部本館の建物模型／受入日：総合博物館より3月31日
- (4) 研究林関係資料（1930～1970年代の天塩・中川・雨龍・苫小牧・檜山・和歌山演習林の地図・土壌図・林相図等）74点／受入日：北方生物圏フィールド科学センター森林圏統括管理部より6月18日
- (5) 油彩画「サイロのある風景」（宮本嘉巳作）／受入日：電子科学研究所より6月20日
- (6) 理学部地質学鉱物学教室宛て寄付図書関連書類綴1点（1942年）／受入日：理学部図書室より8月25日
- (7) 油彩画（I.Kumagai 作、無題、風景画）／受入日：教育学事務部より10月15日
- (8) 沿革資料1箱（教員肖像写真、印画紙写真、新聞切抜等）／受入日：理学部物理図書室より11月14日

《個人資料等の受け入れ》

- (1) 香川恒夫（文学部1962年卒業）関係資料3点（第1回文化祭プログラム、第2～3回大学祭プログラム）／受入日：中村廣治氏および香川紀美子氏より1月9日
- (2) 梅田安治関係資料1点（写真アルバム「泥炭」1956年）／受入日：梅田純子氏より1月16日
- (3) 1970年代医学部在学関係資料14点（受講ノート）／受入日：立野正敏氏より1月23日
- (4) 在職関係資料13箱（構内写真スライド、海外出張記録帳、海外出張スクラップブック等）／受入日：四方英四郎氏より1月23日
- (5) 1960年代工学部精密工学科在学関係資料2点（写真アルバム「馬術部の生活」、馬術部贈呈卒業記念メダル）／受入日：守屋正氏より1月28日

- (6) 木原均関係資料画像41,714点 (写真、証書類、学術探検関連)／受入日：木原ゆり子氏より 3月18日、4月26日
- (7) 大学院生協議会関係資料5点 (北大大学院生協議会討論史料編集委員会『大学変革その闘いの理念』1969年10月等)／受入日：中原豊司氏より 3月7日
- (8) 和田真也 (水産学部1955年卒業) 関係資料2点 (卒業記念アルバム、卒業証書)／受入日：寒河江光子氏より 3月10日
- (9) 剣道部報『北斗』58号、59号／受入日：佐藤美樹氏より 3月11日、剣友会より12月26日
- (10) 時任一彦旧蔵資料39点 (農学部土地改良学研究室旧蔵写真)／受入日：長澤徹明氏より 3月13日
- (11) 総合博物館常設展示「北大の蔵書」関係資料1箱／受入日：佐々木亨氏より 3月14日
- (12) 『文学部同窓会会報 楡文』創刊号～第25号／受入日：弐和順氏より 3月28日
- (13) 1960～1970年代理学部地球物理学科在学資料58点 (合格通知書、理学部時間割、理学部総合雑誌『底流』第10号、襟章等)／受入日：戸坂隆氏より 3月28日
- (14) 1960～2020年代工学部電子工学科在学・在職資料9箱 (受講ノート「物理学実験」・「回路網特論」、電子工学科雑誌『Electron』創刊号～第5号等)／受入日：青木由直氏より 4月1日、4月9日、4月17日、4月25日、5月14日、5月21日、5月29日、7月9日
- (15) 『サッカー部 部報』2024年度／受入日：牧内勝哉氏より 4月7日
- (16) 『北海道大学野球部 部報』令和6年号／受入日：太田和佳氏より 4月7日
- (17) 医療技術短期大学部看護学科卒業記念アルバム (1980～1990年代)10点／受入日：村松宰氏より 4月16日
- (18) 東北帝国大学農科大学「給与台帳」等12点／受入日：友廣一二氏より 4月18日
- (19) 応用菌学講座関連資料 (学生実習用ライツ製顕微鏡、建物取壊時の写真等)3点／受入日：横田篤氏より 4月18日
- (20) 相川貞栄 (農学部1940年卒業) 関係資料6点 (校舎前や森本厚吉宅での集合写真等)／受入日：相川直明氏より 4月28日
- (21) 農学部記念品3点 (農学部創基百周年記念ネクタイピン、札幌同窓会創立百周年ネクタイピン、予科校章デザインのペーパーウェイト)／受入日：草野賀文氏より 5月8日
- (22) 1970～1980年代在学資料17点 (受験時の鉄道周遊券、入学時のスカイメイト搭乗券等)／受入日：竹下忠彦氏より 5月15日、10月30日
- (23) 『北大1969』(2021年) および『北海道大学院生協議会史』(2024年)の編纂資料949点／受入日：北大院生協議会史編集委員会より 5月16日
- (24) 『巖鷲寮誌』2024年度／受入日：中川大介氏より 5月19日
- (25) 庭球部部誌『楡庭 2024』／受入日：太田正人氏より 5月20日

- (26) 雨夜金二郎（農芸伝習科第2期生）卒業証書／受入日：雨夜レイ子氏より5月21日
- (27) 1950年代教養部・文学部在学資料3点（教養部雑誌『赤砂』第1号～第3号）／受入日：関秀志氏より5月26日
- (28) 美術部黒百合会OB・OG会関係資料1点（会誌『さっぽろくろゆり』42号、2025年発行）／受入日：梶原一義氏より5月27日
- (29) 1970～1980年代医学部在学資料10点（合格通知書、教養部成績表、学部校許可書等）／受入日：浜田慎二氏より6月6日
- (30) 北方文化研究施設関係資料1点（学長視察時の写真アルバム、1966年）／受入日：佐々木亨氏より6月16日
- (31) 杉野目晴貞関係資料10箱（在職期書類・書簡、式辞・祝辞原稿、北海道化学協会日誌等）／受入日：杉野目康子氏より6月17日
- (32) 築田織絵（文学部1992年卒業）関係資料5箱（『北大生の生活』、文学部新歓パンフレット「道しるべ」、1991年開催北大祭・文系長屋屋・医学祭・薬学祭パンフレット等）／受入日：馬場貴志氏より6月26日
- (33) 1970～1980年代恵迪寮関係資料21点（『恵迪』、「郷関録」等）／受入日：佐々木欣也氏より6月27日
- (34) 川江秀夫（工学科第5期生）関連資料1点／受入日：Keene 昭子氏より6月30日
- (35) 東克彦旧蔵資料179点（『茨水会報』、対小樽商科大学漕艇定期戦パンフレット等）／受入日：東乙比古氏より7月4日、7月31日、8月12日、8月22日、8月29日、9月19日、9月30日、10月24日、11月11日、12月24日
- (36) 油彩画「北大理学部」（田中進作）、「北大農場」（金丸直衛作）／松本健郎氏より7月18日
- (37) 創基百周年に関わる記念品等34点（創基八十周年記念バックル、タイタック等）／受入日：石井紀夫氏より7月18日、9月30日
- (38) 1960年代工学部在学資料35点（入学試験問題紙、工学部講義要目等）／受入日：杉山一成氏より7月31日
- (39) 1970年代在学資料8点（合格通知書、体育会会員証、奨学生手帳、卒業記念写真等）／受入日：太田成司氏、赤間圭子氏、佐々木和芳氏、久松宏志氏より8月8日
- (40) 上野一馬（農学部1946年卒業）関係資料2箱（写真アルバム、受講ノート等）／受入日：上野芳康氏より8月25日、8月29日
- (41) クラーク博士胸像写真及び1970年代在学資料（授業時間割、入学試験問題紙等）26点／受入日：千葉恭子氏より9月4日、11月6日
- (42) 「72年北大事件山崎眞秀証言」PDFデータ1点／受入日：羽田貴史氏より9月22日
- (43) 印画紙写真「盛岡高等女学校生徒と佐藤総長」、「中原貞七・富田小一郎・三田義正」／受入日：戸田洋子氏より9月26日
- (44) 印画紙写真「佐藤昌蔵・昌介父子とその家族等」（1890年代）ほか2点／受入日：佐

藤勉氏より 9月26日

- (45) 『恵迪』第25号／受入日：恵迪寮同窓会より10月15日
- (46) 村井隆治（農芸化学科1918年卒業）関係資料1箱（創基50周年記念講演集、舎密会会員名簿等）／受入日：11月6日
- (47) 池田勝三郎（第一高等学校1907年卒業）旧蔵書1点（東郷実『日本植民論』1906年）／受入日：池田敦子氏より11月7日
- (48) 東晃旧蔵新聞スクラップブック4点／受入日：山崎敏晴氏より12月3日
- (49) 北大紛争関係資料71点（スクラップブック「北大闘争」1～4等）／受入日：桑原真人氏より12月15日

4. 研究調査業務

(1) 近代日本における高等教育機関の入試制度に関する研究

「高等教育拡張期の帝国大学進学ルートにおける入学者選抜と受験動向に関する歴史的研究」（研究代表者：廣瀬公彦／2022～2024年度）において、科学研究費補助金基盤研究（C）の交付を受け、資料調査・研究を行った。

(2) 帝国大学における海外への学術研究・学術調査・学術視察派遣に関する研究

「戦前期帝国大学における海外への学術研究・学術調査・学術視察派遣に関する歴史的研究」（研究代表者：山本美穂子／2024～2026年度）において、科学研究費補助金基盤研究（C）の交付を受け、資料調査・研究を行った。

(3) 戦時期帝国大学の教育体制と学生・生徒の諸活動に関する研究

「戦時期帝国大学の教育体制と学生・生徒の諸活動及び戦争動員に関する歴史的研究」（研究代表者：井上高聡、研究分担者：廣瀬公彦・山本美穂子・佐々木朝子／2025～2027年度）において、科学研究費補助金基盤研究（C）の交付を受け、資料調査・研究を行った。

(4) 帝国大学の附属演習林と地域の関係に関する研究

「北海道における帝国大学の附属演習林と地域の関係に関する歴史的研究」（研究代表者：佐々木朝子／2025～2027年度）において、科学研究費補助金基盤研究（C）の交付を受け、資料調査・研究を行った。

5. 展示業務

(1) 沿革展示室の企画展示

第Ⅶ期企画展示「半澤洵博士の眼鏡に映った世界—植物誌から食物史へ、93年間の観察と探究」の会期を延長し、2026年5月25日までの公開継続とした。

(2) パネル展示のイベント公開

「サイエンスフェスタ2025」（主催：北海道大学、期間：12月20日～21日、会場：チ・カ・ホ）において、写真パネル展示「北大キャンパスを訪れる」を公開した。

大学文書館業務日誌（2025年1月～12月）

- 1月25日 資料見学会「札幌農学校・古河講堂・昆虫学教室をめぐって」を開催（於：会議室）
- 1月28日 「令和6年度第2回札幌市公文書管理審議会」に出席（於：札幌市公文書館、佐々木）
- 2月6日 学外資料調査（国立国会図書館、～2月8日、廣瀬）
- 2月12日 2024年度第1回大学文書館年報編集委員会を開催（WEB会議）
- 2月18日 『リテラポプリ』第74号（2025年春号、広報・社会連携本部及び社会共創部広報課）の《温故知新 北海道大学挑戦の150年》第22回連載記事として、「創基五十周年とクラーク胸像 1924-1937」を執筆（井上）
- 2月19日 学外資料調査（国立公文書館・国立国会図書館・東京都立中央図書館、～2月23日、山本）
- 2月28日 「アイヌ施策検討委員会」に出席（書面会議、～3月7日、井上）
- 2月28日 『きぼうの虹』第412号（北海道大学生活協同組合、4月1日発行）の《大学文書館へ行こう》第23回連載記事として、「クラーク胸像が消えた」を執筆（井上）
- 3月3日 学外資料調査（名古屋大学教育発達科学図書室・静岡大学附属図書館静岡本館・国立国会図書館、～3月6日、廣瀬）
- 3月4日 学外資料調査（東北大学史料館、～3月6日、山本）
- 3月19日 「2024年度大学文書館職員研修」を実施（テーマ：「資料閲覧・撮影用具について」、～3月28日）
- 3月25日 学外資料調査（国立公文書館・国立国会図書館、～3月27日、山本）
- 3月31日 『北海道大学大学文書館年報』第20号を発行
- 4月1日 「広報・社会連携本部兼務（広報・コミュニケーション部門兼務教員）」委嘱を

- 受ける (～2027年 3月31日、井上)
- 4月18日 学外資料調査 (由仁町、井上・廣瀬・佐々木)
- 4月22日 学外資料調査 (東北大学史料館・国立公文書館・木原均旧宅、～4月26日、山本)
- 4月24日 「アイヌ施策検討委員会」に出席 (WEB 会議、井上)
- 4月28日 学外資料調査 (国立国会図書館・東京都立中央図書館・北海道大学東京オフィス、～5月1日、廣瀬)
- 5月23日 「令和7年度法人文書管理に関する研修会 (初任職員向け)」に講師を派遣 (於：学術交流会館、井上)、受講者等37名に対する施設見学を実施
- 6月7日 第67回大学祭 (北大祭) に伴う臨時開館、展示ホール・沿革展示室を公開 (～6月8日)
- 6月10日 『きぼうの虹』第413号 (7月1日発行) の《大学文書館へ行こう》第24回連載記事として、「図面と模型」を執筆 (井上)
- 7月3日 「サステイナビリティ推進員会議」に出席 (WEB 会議、井上)
- 7月16日 「総合博物館展示専門委員会」に出席 (WEB 会議、井上)
- 8月3日 北海道大学主催「オープンキャンパス2025」に伴う臨時開館、展示ホール・沿革展示室・展示回廊を公開
- 8月6日 資料見学会「札幌農学校のアメリカ人教師たち」を開催 (於：会議室)
- 8月8日 『リテラポプリ』第75号 (2025年秋号) の《温故知新 北海道大学挑戦の150年》第23回連載記事として、「文武会事件1927-1929」を執筆 (井上)
- 8月9日 北海道大学和歌山研究林創立100周年記念に際する古座川町在住中学生の北海道大学キャンパス等見学会にあたり、資料・施設見学会を開催 (於：会議室)
- 9月2日 施設見学 (事務局インターンシップ学生実習生1名、同行：総務課文書情報管理担当2名、大学文書館技術補佐員1名) に応対
- 9月4日 『きぼうの虹』第414号 (10月1日発行) の《大学文書館へ行こう》第25回連載記事として、「中谷宇吉郎と湯川秀樹のコラボ」を執筆 (井上)
- 9月8日 学外資料調査 (国立国会図書館・国立公文書館、～9月9日、佐々木)
- 9月10日 国立公文書館主催「アーカイブズ研修Ⅲ (前期)」を受講 (於：国立公文書館、佐々木)
- 9月12日 「令和7年度第1回札幌市公文書管理審議会」に出席 (於：札幌市公文書館、佐々木)
- 9月17日 破碎処理書類5箱、業者回収
- 9月27日 北海道大学主催「ホームカミングデー2025」に伴う臨時開館、展示ホール・沿革展示室・展示回廊を公開 (～9月28日)
- 9月30日 北海道立文書館主催「令和7年度文書等保存利用研修会」に参加 (中村・松岡)
- 10月1日 沿革展示室第Ⅶ期企画展示「半澤洵博士の眼鏡に映った世界—植物誌から食物

- 史へ、93年間の観察と探究」の会期を延長（～2026年5月25日）
- 10月6日 「北大のいま維持発展ワーキンググループ」に出席（WEB会議、井上）
- 10月7日 集中管理をする法人文書ファイル（引継ぎ文書）用の収納箱を対象部局へ巡回配達
- 10月17日 集中管理をする法人文書ファイル（引継ぎ文書）を函館キャンパス事務部から4箱受領
- 10月20日 集中管理をする法人文書ファイル（引継ぎ文書）を対象部局から91箱受領（～10月21日：札幌キャンパス内）
- 10月29日 国立公文書館主催「公文書管理研修Ⅰ」をオンライン受講（松岡）
- 11月10日 国立公文書館主催「アーカイブズ研修Ⅲ（後期）」を受講（於：国立公文書館・外交史料館、～11月14日、佐々木）
- 11月15日 学外資料調査（国立国会図書館、佐々木）
- 11月26日 「アイヌ施策検討委員会」に出席（WEB会議、井上）
- 11月27日 『きぼうの虹』第415号（1月1日発行）の《大学文書館へ行こう》第26回連載記事として、「修学旅行が描く物語り」を執筆（井上）
- 11月28日 「令和7年度法人文書管理に関する研修会（初任職員以外）」に講師を派遣（於：学術交流会館、井上）、受講者等41名に対する施設見学を実施
- 12月1日 学外資料調査（国立公文書館・国立国会図書館、～12月3日、山本）
- 12月2日 「サステイナビリティ推進員会議」に出席（WEB会議、井上）
- 12月4日 学外資料調査（市立富良野図書館、～12月5日、佐々木）
- 12月9日 学外資料調査（国立国会図書館、～12月11日、井上）
- 12月11日 学外資料調査（国立国会図書館、～12月13日、廣瀬）
- 12月16日 学外資料調査（国立公文書館・国立国会図書館、～12月18日、山本）
- 12月20日 北海道大学主催「サイエンスフェスタ2025」（於：チ・カ・ホ）において、写真パネル展示「北大キャンパスを訪れる」を公開（～12月21日）
- 12月26日 『北海道大学百五十年史』資料編二（編集：北海道大学150年史編集室、発行：北海道大学）を刊行

大学文書館利用状況（2025年1月～12月）

- (1) 参考調査 666点（341件、346名）
- (2) 閲覧・複写利用 2,678点（191件、244名）
- ◇開館日：月～金曜日
- ◇休館日：土～日曜日、祝日・年末年始12/29～1/3
- ◇開館日数：285日（臨時開館日：6/7～6/8、8/3、9/27～9/28を含む）

◇閲覧日数：280日（月～金曜日、休館日を除く）

(3) 出版・放映掲載利用	117点（47件、60名）
(4) 展示利用	79点（7件、7名）
【陳列展示としての資料提供】	71点（3件、3名）
【展示パネル等への画像提供】	8点（5件、5名）
(5) 取材・撮影	4点（3件、19名）
(6) 展示観覧	1,685名
(7) 見学・視察	264名（22件）（展示観覧数に含む）
(8) 大学文書館所蔵資料検索アクセス数	14,314件
(9) オンライン展示アクセス数	2,089件
：「資料でたどる北海道大学の歴史」	1,820件
：「写真でたどる北大キャンパスの移り変わり1940s-1960s」	269件

大学文書館構成

◇館長	山本 文彦	（理事・副学長）	2020.10.1. ～
◇副館長	眞壁 仁	（法学研究科教授）	2014.4.1. ～
◇運営委員会			
委員長	山本 文彦	（大学文書館館長）	2020.10.1. ～
委員	眞壁 仁	（大学文書館副館長）	2014.4.1. ～
	近藤 健一郎	（教育学研究院教授）	2007.4.1. ～
	神谷 温之	（医学研究院教授）	2021.4.1. ～
	江田 真毅	（総合博物館教授）	2022.4.1. ～
	小澤 丈夫	（工学研究院教授）	2011.4.1. ～2025.3.31
	角 哲	（工学研究院准教授）	2025.4.1. ～
	松王 政浩	（理学研究院教授）	2013.4.1. ～
	権 錫永	（文学研究院教授）	2018.4.1. ～
	井上 高聡	（大学文書館准教授）	2015.4.1. ～
◇兼務教員	池上 重康	（工学研究院助教）	2007.4.1. ～
◇研究員	逸見 勝亮	（名誉教授）	2011.4.1. ～
	角 幸博	（名誉教授）	2012.4.1. ～
◇館員	井上 高聡	（大学文書館准教授）	2005.5.1. ～
	廣瀬 公彦	（大学文書館特任助教）	2018.4.1. ～
	山本 美穂子	（大学文書館特定専門職）	2006.4.1. ～

	佐々木 朝子（大学文書館特定専門職）	2018.5.1. ～
◇技術補佐員		
	中村 美樹子	2021.10.1. ～
	笹原 育美	2024.9.1. ～2025.2.28.
	松岡 理恵	2025.9.1. ～
◇技術補助員		
	段 建秀	2022.10.20. ～
	李 依蒨	2022.11.14. ～
	胡 宋語嫣	2022.11.14. ～2025.3.31.
	陳 恵陽	2022.11.14. ～2025.7.31.
	姚 依平	2022.11.15. ～
	王 耀瓏	2022.11.15. ～2025.3.31.
	金井 理仁	2023.7.1. ～2025.3.31.
	新開 なつみ	2023.7.1. ～2025.3.31.
	中村 建	2024.5.1. ～2025.3.31.
	村岡 恵	2024.5.7. ～
	小玉 花菜	2024.7.15. ～
	山本 実莉	2024.7.15. ～
	王 康	2025.6.1. ～
	劉 如玉	2025.6.1. ～
	張 家桐	2025.6.1. ～
	趙 夢婧	2025.6.1. ～
	張 越	2025.7.1. ～
◇事務	事務局総務企画部総務課文書情報管理担当	

大学文書館年報編集

◇年報編集委員会

委員長	山本 文彦（大学文書館館長）	2020.10.1. ～
委員	眞壁 仁（大学文書館副館長）	2014.4.1. ～
	近藤 健一郎（大学文書館運営委員会委員）	2007.7.23. ～
	池上 重康（大学文書館兼務教員）	2007.7.23. ～
	井上 高聡（大学文書館准教授）	2007.7.23. ～
	山本 美穂子（大学文書館特定専門職）	2007.7.23. ～

廣瀬 公彦 (大学文書館特任助教)	2019.4.1. ~
佐々木 朝子 (大学文書館特定専門職)	2019.4.1. ~

◇北海道大学大学文書館年報論文公募要領

- 1、北海道大学大学文書館年報（以下「年報」という。）の論文公募に応募する者は、原則として毎年度8月31日までに、以下の内容を記載した応募申請書を北海道大学大学文書館（以下「大学文書館」という。）宛てに、郵送または電子メールで提出する。
 - (1) 応募日付
 - (2) 応募者氏名（ふりがな）
 - (3) 連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）
 - (4) 所属
 - (5) 論文表題
 - (6) 論文概要（400字程度）
- 2、応募論文は、北海道大学の歴史または資料に関する内容とし、未発表のものとする。
- 3、応募論文は、以下の書式とする。
 - (1) B5用紙（40字×36行）、横書き
 - (2) 空白、図表を含み20枚以内
 - (3) 本文は Word 形式または一太郎形式（手書きは不可）
 - (4) 図表は JPEG 形式または Excel 形式
- 4、応募者は、11月15日までに応募論文の B5 用紙印字原稿3部および電子データを大学文書館宛てに提出する。
- 5、北海道大学大学文書館年報編集委員会（以下「年報編集委員会」という。）は1月中旬までに応募論文の掲載採否を決定し、応募者に結果を通知する。
- 6、年報編集委員会は、年報掲載予定の応募論文について、応募者に対し、分量、内容及び表記等の変更を求めることができる。
- 7、年報編集委員会は、応募者の了解を得た上で、応募論文を研究ノート等の構成項目に掲載することができる。
- 8、著者校正は、初校までとし、再校以降は大学文書館において行う。
- 9、この要領に定めるもののほか、論文の公募に関し必要な事項は、年報編集委員会が定める。

北海道大学大学文書館年報 第21号

2026年 3 月31日発行

編集・発行 北海道大学大学文書館

〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 8 丁目

電話 011-706-2395 (FAX 兼)

印 刷 岩橋印刷株式会社

© 2026 Hokkaido University Archives.

Printed in Japan.